

アール・ブリュットの作品を巡る視覚体験を生み出す  
**ボーダレス・アートミュージアムNO-MA キュレーター公募企画展**  
**アール・ブリュット 動く壁画**



2万年前。旧石器時代の人々が描いた洞窟壁画は動いていた。真っ暗な洞窟の中、描かれた動物たちの絵は、獣脂の炎（描かれた動物たちを屠って得た炎＝動物たちの魂）のゆらめきを得て、蘇り、再び生き生きと動き出したにちがいない。少なくとも洞窟の壁を見上げる人々は、そこにもう一つの現実＝動く画を幻視した。そう、人類が最初に生み出した芸術とは、絵ではなく「映画」だったのだ。

時代が変わって19世紀末、映像撮影技術が登場した。この最新技術は、ただリアルに絵が動き出す驚きをもたらすだけでなく、肉眼では捉えられない世界の様相を可視化することに成功し、人間の目を超えて、正確無比に記録し、自由自在に空間と時間を掴まえるカメラの目の存在を知らしめた。そしてカメラは、人類が長い間忘れていた最も始源の芸術「映画」への懐かしい回帰をついに可能にしたのだ。このように、動く画は原始的な人類の想像力の中心に存在しつつ、さらに人智を超える力としても存在してきた。

本展は「動く壁画」というテーマから、アール・ブリュットを捉えなおす試みである。4Kカメラで超高精細に撮影された作品の映像により、新たなアール・ブリュットの作品を巡る視覚体験を生み出すとともに、作品そのものに内在する「動き」を発見することが本展の趣旨である。

【文 本展キュレーター：カメラマン 辻 智彦】

**【展覧会の見どころ】**

- ・4Kカメラで撮影された作品映像により、作品そのものに内在する「動き」を発見する
- ・「美術」と「映像」両分野のスペシャリストによるオープニングトークを開催
- ・ルーペ（虫眼鏡）を通して作品に迫るワークショップを実施

**会期:2018年2月3日(土)~3月18日(日)**  
**会場:ボーダレス・アートミュージアム NO-MA**

**【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】**

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部（ボーダレス・アートミュージアム NO-MA）  
 担当：山田・鈴木・松井 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837 番地の 2  
 TEL：0748-46-8100 FAX：0748-46-8228 MAIL：kikaku@glow.or.jp



**出展者紹介 (広報用画像)**
**岡崎莉望 Okazaki Marino**

(1988 年生まれ／北海道在住)

岡崎の描く線は、わずかにどこかが細くなることもなく、ほとんど均一の幅を持ち、均一のスピードで素早く描かれる。描くときには、彼女は同時ではないにしろ、両手を使う。そして、紙を自在にまわしながら描いていく。迷いなくペンを選び、これまた迷いなくその手を置く場所と進む方向を決める。彼女によれば、頭の中にイメージはあるらしい。またこのタイプの絵を描き始めたのは、2013 年頃だったという。



「誰でもない誰か」2015 年 ①

**木村全彦 Kimura Masahiko**

(1984 年生まれ／京都府在住)

木村全彦の絵には、不思議な模様がびっしりと描き込まれている。これらは、どうやら木村の頭の中で生み出されたオリジナルの模様であるようだ。しかし、本人が模様について語るわけでもないの、それらがどのような意味を持っているのかはよく分からない。ただ、その正体は分からずとも、彼が生み出したこの唯一無二の様式は、まるで光の粒をそのまま目に見ているような、強烈な視覚効果を鑑賞者に与えている。



「駄馬神事」2013 年 ②

**西田裕一 Nishida Yuichi**

(1974 年生まれ／東京都在住)

繊細で緻密な線画、線と線が織りなすその美しい構図には静けさと力強さが漂い思わず息を吞んでしまう。使用するのは万年筆。一つの作品を描くときにどのように描くかなどのテーマ設定は行わない。その時、その時の成り行きに合わせ、思いついたイメージや描画が進む内に現れる偶然の形を楽しみながら描いていく。



「炎舞」2008 年頃 ③

**甫 Yoshi**

(1974 年-2015 年／徳島県)

彼のこのような絵画の制作は、2006 年頃から始まった。小学生の頃から「何となく絵を描いていた」というが、このような表現は、カウンセラーで画家でもある先生の元に 2 週間に 1 度通うようになってから描くようになった。彼の作品の魅力は、私たち誰も深層に棲む、カタチの不明な何者かの存在を揺り動かす力なのではないだろうか。



「踊る人間」制作年不詳 ④

アール・ブリュット(仏: Art Brut)

「生の芸術」という意味のフランス語。Art は芸術、Brut はワインなどが生(き)のままである様子を表す。正規の美術教育を受けていない人が自発的に生み出した、既存のモードに影響を受けていない絵画や造形などを指す。

## 展覧会概要

- タイトル 「アール・ブリュット 動く壁画」
- 会 期 2018 年 2 月 3 日 (土) ~ 3 月 18 日 (日)
- 会 場 ボーダレス・アートミュージアム NO-MA (滋賀県近江八幡市永原町上 16)
- 開催時間 11:00~17:00
- 休 館 日 月曜日 (祝祭日の場合は翌日休館)
- 入 館 料 一般 300 円 (250 円) 高大生 250 円 (200 円) 中学生以下無料  
※障害のある方と付添者 1 名無料、() 内は 20 名以上の団体料金
- 主 催 アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会  
[構成団体] ボーダレス・アートミュージアム NO-MA (社会福祉法人グロー [GLOW] ~生きることが光になる~)、滋賀県、滋賀県立近代美術館、近江八幡市、一般社団法人近江八幡観光物産協会、社会福祉法人愛成会、NPO 法人はれたりくもったり、滋賀県施設・学校合同企画展実行委員会
- 後 援 滋賀県教育委員会、近江八幡市教育委員会
- 協 力 京都市ふしみ学園、就労継続支援 B 型事業所『BEING ビーイング』
- 機 材 提 供 JVC、Blackmagicdesign
- 助 成 平成 29 年度文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

## 【ボーダレス・アートミュージアム NO-MA】とは？

滋賀県近江八幡市の歴史ある重要伝統的建造物群保存地区にあり、昭和初期の町家を改築 2004 年 6 月に開館した、社会福祉法人グローが運営するミュージアムです。

障害のある人の表現活動の紹介にとどまらず、現代アーティストの作品と共に展示し「人の持つ普遍的な表現の力」を感じることができる企画展を開催しています。

また、「障害者と健常者」をはじめ様々なボーダー (境界) を超えていく試みを実践し、アール・ブリュットを扱うミュージアムとして国内外から注目されています。

## 関連イベント

### (1) オープニングトーク：

#### 束芋と考える「動く壁画」アール・ブリュット meets キノガラス (映画眼)

展覧会オープニングに併せ、映像インスタレーションで社会の諸相を独創的に描く現代美術のトッププランナー・束芋と、本展キュレーターで、映像分野で活動する辻智彦によるトークを行います。

「美術」と「映像」、両分野のスペシャリストによる分析で「動く壁画」の魅力を紐解きます。

日 時：2018 年 2 月 3 日 (土) 14:30~16:00

出 演：束芋 (現代美術家)、辻智彦 (本展キュレーター)

会 場：酒游館 (滋賀県近江八幡市仲屋町中 6)

定 員：50 名 (要予約)

※参加は無料ですが、本展の観覧券 (半券) が必要です。

## (2) ワークショップ ルーペから見つめるアール・ブリュット

ルーペ（虫眼鏡）を通して、アール・ブリュットの作品に、文字通り「ぐっ」と迫ります。作品を拡大して見つめなおすことで、細部に潜む「動き」を探ってみましょう。ファシリテーター：辻智彦（本展キュレーター・カメラマン）

日 時：2018 年 3 月 3 日（土）14:30～16:00

会 場：ボーダレス・アートミュージアム NO-MA

定 員：12 名（要予約）

※参加は無料ですが、本展の観覧券（半券）が必要です。

## 同時期開催企画展

ボーダレス・アートミュージアム NO-MA から 20m 先 奥村家住宅でも展覧会開催中！

**2018 年 1 月 20 日（土）～2 月 18 日（日）**

**シガカラー2018 ～町屋へ歩く、心動かされる～**

滋賀県に暮らす 5 人の作者による約 150 点の作品を紹介します。「ひとの表現を大切にうけとめる」という姿勢で作上げた本展で、作者の作品世界をご堪能ください。

会 場 奥村家住宅（滋賀県近江八幡市永原町上 8）

開 催 時 間 11:00～17:00

休 催 日 月曜日（祝祭日の場合は翌日休催）

観 覧 料 無料

主 催 社会福祉法人グロー（GLOW）～生きることが光になる～

協 力 滋賀県立近江学園、滋賀県立八日市養護学校、社会福祉法人やまなみ会 やまなみ工房、社会福祉法人きぬがさ福祉会 きぬがさ作業所

助 成 障害者芸術文化活動普及支援事業（厚生労働省補助事業）

イベントのご予約・お問い合わせ

ボーダレス・アートミュージアム NO-MA TEL/FAX: 0748-36-5018 <http://www.no-ma.jp/>

ボーダレス・アートミュージアム NO-MA キュレーター公募企画展

# アール・ブリュット 動く壁画

広報用画像申込書

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部  
(ボーダレス・アートミュージアムNO-MA) 広報宛  
FAX : 0748-46-8228

本展覧会広報用素材として、作品画像を用意しております。

ご希望の際は下記申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX又はメールにてお申し込みください。

なお、写真の使用に際し、以下の点をご注意ください。

- ① キャプションは、作家名、作品名、制作年、コピーライト等を必ず表記ください。
- ② 作品のトリミング、文字載せはお控えください。
- ③ 本展記事をご紹介頂く場合には、恐れ入りますが情報確認の為の校正、掲載誌（紙）、DVD、CD等をお送りください。

媒体名：『 \_\_\_\_\_ 』

種別： TV ラジオ 新聞 雑誌 フリーペーパー  
ネット媒体 携帯媒体 その他 発売・放送予定日： \_\_\_\_\_

御社名： \_\_\_\_\_ ご担当者名： \_\_\_\_\_

Eメールアドレス： \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_  
(〒 \_\_\_\_\_ )

ご住所： \_\_\_\_\_

お電話番号： \_\_\_\_\_ FAX： \_\_\_\_\_

ご希望の図版番号に✓をおつけください。

<input type="checkbox"/>	①岡崎莉望 「誰でもない誰か」 2015年
<input type="checkbox"/>	②木村全彦 「駈馬神事」 2013年
<input type="checkbox"/>	③西田裕一 「炎舞」 2008年頃
<input type="checkbox"/>	④甫 「踊る人間」 制作年不詳 撮影：大西暢夫

プレゼント用ご招待券をご希望の場合は✓をおつけいただき、枚数をご記入ください（10枚まで）（ 枚）**【問い合わせ / 掲載用写真貸出・取材】**

社会福祉法人グロー 法人本部企画事業部（ボーダレス・アートミュージアムNO-MA）

担当：山田・鈴木・松井 〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 4837番地の2

TEL：0748-46-8100 FAX：0748-46-8228 MAIL：kikaku@glow.or.jp